

広報

SHOBARA the public information magazine

# しょうばら

美しく輝く 里山共生都市

# 12

2016/Decemver  
No.141

一緒に行こう  
冬の庄原

国営備北丘陵公園の「備北イルミ」や、市街地の「まちなかイルミネーション」で、庄原市が光り輝く季節がやってきました。  
(撮影日：11月21日／国営備北丘陵公園)





まつもと しんた 松本 晋太さん・みのりさん(口和町)

晋太さん(写真右)は旧豊田郡安芸津町出身。41歳。広島市出身の妻みのりさん(写真左)とは東京都内の大学で出会った。大学卒業後、神奈川県や千葉県などで安住の地を探したが、東日本大震災を機に「ふるさと」広島県周辺での移住先を探し、口和町にたどり着いた。子ども3人との5人暮らし。



みのりさんは地域の芸能保存会で早乙女として活躍



10月21日～23日に行われた「ひろしま里山ウエーブ拡大プロジェクト」の現地実習で、首都圏から来た実習生と、松本さん家族を含む移住者が交流した。(関連記事 22 ページ)

# しょうばら びと

庄原市内の  
かがやくひとを  
紹介します

vol.18

## 地域で暮らすという事

**地に足のついた暮らしを**  
松本晋太さんは旧豊田郡安芸津町(現在の東広島市安芸津町)出身。東京都内の大学を卒業後は神奈川県に住み、妻みのりさんと結婚しました。「都会では、生活の『自給率』が低いのではないかと、自分のことを自分でまかなう、地に足のついた暮らしを田舎でいたい」と考えていた晋太さんは、安住の地となる田舎を探していました。「海に臨む町で育ったので、海の近くに住みたい」と千葉県の外房へ移りま

したが、どうやら求めていたものは山だったみたいです。安芸津は海に面していましたが、山に囲まれていたから落ち着いたんですね」と晋太さんは笑います。千葉県から庄原市に移り住んだきっかけも、山のある風景でした。東日本大震災を経験後、2人はふるさとである広島県周辺に移住しようと考え、どこか良い所がないかと車で走っていた時、なだらかな山に囲まれた庄原市の景色が気に入って、移住することにしたそうです。

**地域の人柄に惹かれて**  
庄原市内での再就職先を見つけ、市内のアパートに腰を据えて移住先を探していた晋太さん。そんな時、親身になって相談に乗ってくれた口和町の人々の人柄に触れ、口和に住もうと決めました。町内の空き家に住むことが決まっても、口和自治振興区や地域の方が、家を覆っていたツタや樹木をチェーンソーなどで取り払うなど、たくさん協力をしてくれたそうです。「移住の本質は、住む場所や家にあるのではなく、地域の一員となり人々の中で暮らすということにあるのだと思います。私も田舎で暮らしたい人と地域をつなげる手伝いができれば」と語る晋太さん。将来、庄原市が「移住者が移住者を呼ぶまち」になるための大きな力になることでしょう。

## がんばれ！ スポーツ少年団

### ●板橋剣道教室

板橋剣道教室は、毎週水曜日は板橋町の奥田道場で、土曜日は庄原中学校体育館で活動しています。まだ創設して日の浅い道場ですが、子どもたち一人一人が礼儀やあいさつを大切に、子どもたちが試合で1つでも多く勝てるよう、指導者・保護者が一丸となっている道場です。「竹刀に触れてみたい」「武道に興味がある」という人は、ぜひ一度体験してみてください。再び剣道をしてみたいという大人の方も大歓迎です。

指導者 谷口裕基  
☎ 080-1911-0347



## まちづくりを進める市民活動登録団体 をご紹介します！

市は市内で活動している市民活動団体の登録制度をつくり広く公開しています。市民活動の充実、まちづくりの連携や協働を進めるため情報をお届けします。



### NPO庄原の未来塾 あおぞら会

**活動** 子どもたちに学ぶ機会を提供  
**内容** 私たちは、子どもたちの進路志望の実現のため「あおぞら塾」を主催し、着実に学力を伸ばす手助けと、つまづいたところや興味湧いたところからの学びなおしの支援を行っています。また、ひとり親家庭や生活保護世帯などの子どもたちに無償で勉強を教えるとともに、地域の方々や市外の同世代との触れ合いなどを通して、広い視野と大きな心の育成活動にも取り組んでいます。塾以外にも、自由研究講座・星空観察教室や工作教室・宿題教室も行っています。なお、冬休みも無料で公開宿題教室を行う予定です。

**【問い合わせ】**  
事務局 庄原市西本町三丁目5-12 伊達景明  
☎FAX 0824-72-5177  
ホームページ <http://shobaraaozora.sakura.ne.jp/aozora.html>

**市民活動団体登録をしませんか？**  
市は随時、登録を希望する市民活動団体を募集しています。詳しくは、企画振興課自治振興係 (☎ 0824-73-1209) まで。

- 2 市民のページ
- 4 特集 平成28年度市政懇談会
- 8 特集 あなたの家は大丈夫？  
「空き家」にしない、空き家を「問題化」させないために
- 12 帰ろうや倶楽部会員募集
- 13 高齢者世帯雪下ろし支援制度  
除雪作業にご理解とご協力を
- 14 交通事故に注意  
安心安全な毎日のために
- 15 国勢調査の結果/母子保健だより
- 16 市政トピックス
- 19 カメラレポート
- 24 健康広場
- 25 お知らせ

## なごみま★ シヨット

**たけはら**  
竹原すみれちゃん(東本町)  
H26年1月17日生まれ  
父母より：絵を書いたり、歌うことが大好きなすみちゃん。これからも元気に逞しく育ってね。

**おだ**  
小田新太くん(東城町)  
H26年1月21日生まれ  
ばあばより：アンパンマン大好きな新太！元気に大きくなあれ。

お子さんの写真を載せてみませんか？  
3歳までのお子さんの写真を募集しています。写真(データも可)に、名前(ふりがな)・生年月日・性別・連絡先・子どもへのメッセージを添えて、行政管理課または支所広報担当まで申し込んでください。郵送、メール(koho@city.shobara.lg.jp)でも受け付けます。



# 平成28年度 市政懇談会

市が行う政策や事業に対し、市民の皆さんからご意見を伺う市政懇談会を8月26日から9月29日までの間、市内9会場で開催しました。

各自治振興区や自治会の代表者のほか、一般参加者を含め延べ377人（庄原118・西城65・東城54・口和44・高野22・比和40・総領34）が参加しました。

今回はこれから庄原市が取り組んでいく政策について、2つのテーマを設定して行いました。1つ目のテーマとして「可燃ごみの処理の現状と新焼却処理施設整備基本計画について」を、2つ目のテーマとして「庄原市介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）について」を設定し、市からそれぞれのテーマについて説明した後、市民の皆さんと懇談・意見交換を行いました。その一部を抜粋してお知らせします。



**Q** 三次市は随分前から衣類はリサイクルごみで収集していると思う。そうすれば可燃ごみが減ってくるのではないか。

**A** 東城地域では古着を回収してそれを民間の業者に処理をお願いしている。東城以外の地域も東城地域と同様に古着の分別回収をして処理し、併せてリサイクルについての検討も行っていく。

**Q** 指定ごみ袋が有料で、ごみ処理費の一部を負担している。理解しているが、その袋代などとして市民が直接負担しているのはどれくらいなのか。

**A** 直接ごみを搬入した際の手数料や、ごみ袋代を合わせたると、8500万円程度である。

**Q** 庄原市のごみの処理経費が他の市町に比べて大変高くなっているという説明だが、何が原因でそんなに高くなるのか。

**A** 経費が低い市町の傾向を見てみると、単独の市町で直接施設を持つのではなく、複数の市町で施設を運営し、広域的なメリットが出て



8月26日 / 総領会場

**Q** 東城地域のごみは固形燃料にして福山市にある発電会社を持って行くと説明があったが、その固形燃料についての売り上げのようなものはないのか。

**A** 東城地域のごみについて固形燃料にしているのは、燃料を売っているという点ではなく、ごみ処理をお願いしている。逆にごみの処理費用を拠出しているのだから、売り上げという形ではあがってこない。しかし、その会社は株式会社であり、利益があつた場合は、配当という形で還元はある。

**Q** 56億円かけて新しい施設を整備するのに、補助率はどれくらいで、市の負担がどれくらいになるのか。

**A** 56億円のうち、国の補助金が約16億円で、差し引き40億円が市の負担となる。

**Q** 新しい施設に集約することで、処理経費はどの程度縮減できるのか。

**A** 新しい処理施設の運営について不明の部分もあるが、現段階で正確な説明はできないが、処理施設の位置を庄原地域に固定し、ごみの量を現状に当てはめて考えてみると、東城地域では可燃ごみの処理経費が年間9742万円がかかっており、そのうち8200万円がごみ処理施設の運転管理経費であり、まずその経費分が削減される。一方、東城地域から庄原地域までの運搬経費や、東城クリーンセンターをごみのストックヤードとして使用したときの



8月30日 / 東城会場

**Q** 経費の3000万円を差し引き、現時点では処理経費は3億1200万円のところ、2億6000万円程度まで削減され、可燃ごみ1トン当たり4万円かかっているものが、3万3000円程度になると試算をしている。

**Q** 備北クリーンセンターの処理能力が1日当たり40トンで東城クリーンセンターであれば、合わせて59トンの処理能力ということになる。今回新たに整備する施設の処理能力が1日当たり34トンということだが、処理しきれないのか。

**A** 国の補助金をもらうための要件として、ごみを削減するという大原則がある。現在、施設の稼働状況については最大量ではないが、現在よりもごみの減量に取り組んでいたかという点については、ごみが減少するまでの一定期間



8月31日 / 口和会場

**Q** 東城地域のごみの持ち込みにの対応について説明してほしい。

**A** 東城地域のごみの持ち込みの対応については、説明してほしい。

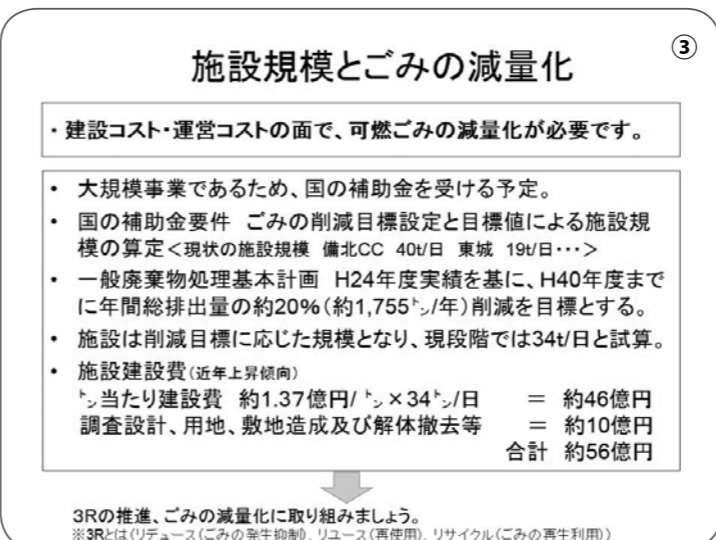
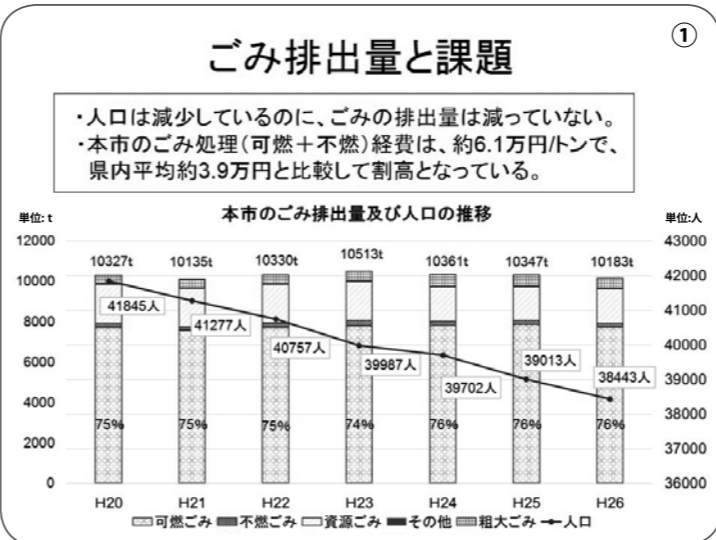
**Q** 施設整備のスケジュールについて、用地が決まらないうちに建物や設備を建てると、候補地への説明などどのように考えているのか。

**A** 候補地については、新聞などで報道されたが、6月に市民の検討組織を立ち上げた。このたびの用地選定については広く市民の意見を聞きながら11月中旬に絞り込みをしていきたいと考えている。

**Q** 地域の理解とご協力がない場合は、事業は進めていけない。候補地の決定以降、丁寧な説明やお願いをしていくよう考えている。



9月1日 / 庄原（東・山内）会場



### ② 可燃ごみ処理の課題と方針

**課題**

- ◎ 備北クリーンセンターと東城ごみ固形燃料化施設の2施設を運営しているが、両施設ともに供用開始から15年以上経過しており、特に備北クリーンセンターは施設全体の老朽化が著しい。
- ◎ 地元自治会との協定における設置期限、固形燃料供給契約終了が迫り、早急な対応が必要となっている。
- ◎ 処理方式の違う2施設を抱え、ごみ処理経費が県内他市に比べ高額となっている。

**方針**

↓

ごみ処理体系を統合し、新焼却処理施設を整備。  
 平成34年4月供用開始を目指す。





9月8日／高野会場

**Q** 新しい総合事業の利用料は、事業所が決めるのか。  
**A** 利用料は、現在のサービス費を基準として、市が定める。  
 また、これまでと同じように、利用料が高額になった場合は、高額介護予防サービス費などの支給対象とする予定である。

**Q** 現在、家族が三次市内の事業所でデイサービスを利用しているが、新しい総合事業に移行後も、引き続き利用できるのか。  
**A** 市外の事業所については、も、庄原市の指定を受けていたであれば、利用できる。なお、現行相当サービスを実施する事業所については、現在受けている指定期限までは、庄原市の指定を受けているものとみなして、引き続き利用できる。



9月2日／比和会場

**A** 東城固形燃料化施設については、市内の2つの施設を統合後に廃止をする。直接ごみを持ち込む際には、東城固形燃料化施設をストックヤードとして活用し、東城地域の方々に不便が生じないよう対応を行う。

**Q** ごみ減量化のための補助制度である生ごみ処理容器等補助金について具体的に教えていただきたい。  
**A** 生ごみ処理容器は、コンポストタイプで畑に置くものや、機械で乾燥させるタイプのものがあるが、いずれも補助金の対象としており、補助率は購入金額の2分の1、補助限度額は1万6千円としている。年間30件程度の利用しかなく、PRを十分行い、普及させていきたいと考えている。

**Q** 入浴や排泄の介助などは、専門的な知識のある人でないと難しいのではないのか。  
**A** 入浴や排泄の介助といった専門的な対応が必要な方については、専門職が介護を行う現行相当サービスをご利用いただける。なお、研修を受けた介護サポーターも従事できる「緩和型サービス」では、身体介



9月9日／庄原(庄原)会場

**Q** 利用者にとってのメリットはなにか教えてほしい。  
**A** 緩和型サービスを利用する方は、サービス費用を少し抑えるので、利用者負担分もやや低くなる。また、介護人材が不足する中では、今後必要なサービスが提供できなくなるおそれがあるが、緩和型サービスの導入により、専門職以外の方も介護人材として活躍できるので、サービスの維持が図られると考えている。



9月7日／庄原(高・本村・峰田・数信・北)会場

**Q** 学習指導要領の中に施設の見学というものがあり、小学4年生が、クリーンセンターやリサイクルプラザなどの見学をする。啓発は長期総合計画や環境基本計画での取り組み項目でもあるため、教育委員会とも相談しながら、啓発に努めていく。  
**Q** 容器・包装・プラスチックごみは、何になってどこに行くのか教えてほしい。  
**A** 容器・包装・プラスチックごみは、定期的に国が分別について点検化し、庄原市は100点満点中99点以上の点数がついており、引き取り価格も高い。白いペットボトルは作業服などに変わったり、色のついていないものはプラントナーなどに活用されている。そういったことも広報し、お知らせするので、引き続き分別にご協力をお願いしたい。



9月29日／西城会場

**Q** 自治振興区も緩和型サービスを実施することができるとのことだが、このサービス事業を実施する事業者は、市の指定を受けるのか。  
**A** 希望される地域については、出前トークなどにより説明に伺うので、ご相談いただきたい。

**Q** 緩和型サービスに従事できる介護サポーターになるためには、どのような研修を受けるのか。  
**A** 介護職員初任者研修の力リキラムから基本的な内容を抜粋し、2日間学習する。その後、2日程度の現地実習を行うこととしている。

**Q** 緩和型サービスに従事できる介護サポーターになるためには、どのような研修を受けるのか。  
**A** 介護職員初任者研修の力リキラムから基本的な内容を抜粋し、2日間学習する。その後、2日程度の現地実習を行うこととしている。

**Q** 現在、自治振興区などが実施しているデイホーム事業も変わるのか。  
**A** デイホーム事業は、高齢者福祉事業として実施している。介護保険事業ではないので、これまでと同じように、実施していただける。

**Q** 希望される地域については、出前トークなどにより説明に伺うので、ご相談いただきたい。

**Q** 住民説明会が市内7カ所で行われるとのことだが、自治会単位など、もっと細やかな範囲での説明を希望する。  
**A** 希望される地域については、出前トークなどにより説明に伺うので、ご相談いただきたい。

市政懇談会では、各会場とも熱心に意見をいただき、ありがとうございました。今回テーマとしたごみ処理の問題や、新しい介護サービスの問題は、いずれも私たちが生活を営むうえで切り離すことができない問題です。皆さんから寄せられたご提案やご意見などは協議検討を進め、今後の市政運営に生かしていきます。

### 介護保険制度の改正でここが変わります

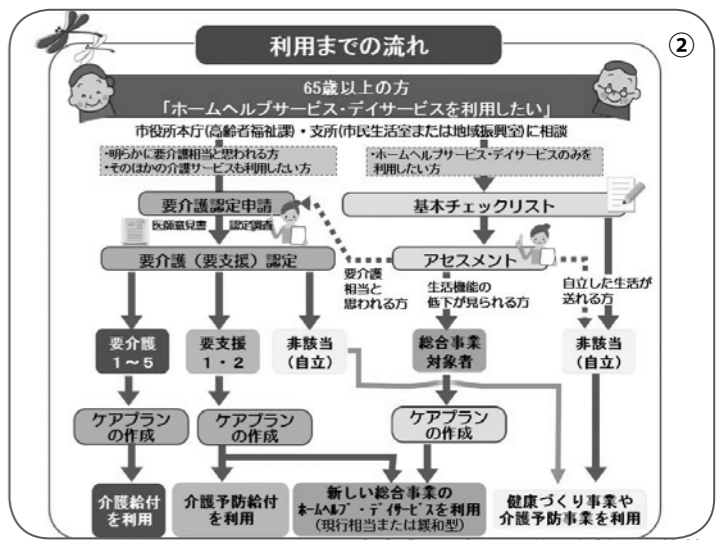
- 要支援1・2の方を対象とした「訪問介護」(ホームヘルプサービス)と「通所介護」(デイサービス)が国が定めた一律のサービスから市町村独自のサービスを定めることができる『新しい総合事業』に移行します。
- 庄原市の『新しい総合事業』は、従来と同じ支援内容の「現行相当サービス」と、支援内容を簡略化し利用料を少し抑えた「緩和型サービス」を設けます。
- 『新しい総合事業』のみを利用する場合は、手続きを一部簡素化します。

※ 要支援1・2の方を対象とした「訪問介護」「訪問リハビリ」「訪問看護」「通所介護」「短期入所生活介護」「福祉用具貸与・購入」「住宅改修」「小規模多機能型居宅介護」などの利用については、変更ありません。

### 「新しい総合事業」のサービス

※ケアプランに基づいて、利用するサービスを決定します。※利用料は、決定次第、お知らせします。

	現行相当サービス	市の基準による緩和型サービス
対象者	要支援または総合事業対象者のうち ○専門的な支援を必要とする方 ○地理的な理由等で、緩和型サービスが利用できない方	要支援または総合事業対象者のうち ○少しの生活支援があれば在宅生活ができる方 ○専門的な支援をそれほど必要としない方
訪問型サービス(ホームヘルプサービス)	○生活援助(掃除、洗濯、調理等) ○身体介助(食事や入浴の介助等)	○生活援助(掃除、洗濯、調理等) ※身体介助は行いません
通所型サービス(デイサービス)	○日常生活上の支援(入浴、排せ、食事等の一部介助) ○機能訓練(筋力トレーニング等)	○閉じこもり防止等のためのミニ・デイサービス ○レクリエーション・体操など ※入浴や食事等の提供、機能訓練の有無は、事業所のメニューにより異なります。
サービス提供者	市の指定を受けた介護サービス事業所 ※ 事業所の申請により、市が定めた基準に基づいたサービスが提供できるとして、市が指定した事業所	○専門職 ○介護サポーター(市が指定する研修の修了者)
スタッフ	○専門職	



①②③...当日の説明資料から抜粋





空き家が増えているのにはいくつか理由があります。例えば、子どもが結婚を機に実家を離れて新居となる住宅が新築すれば、実家には両親だけが残ることになります。両親もいつまでも健在ではありませんので、亡くなった後はおのずから空き家になってしまいます。

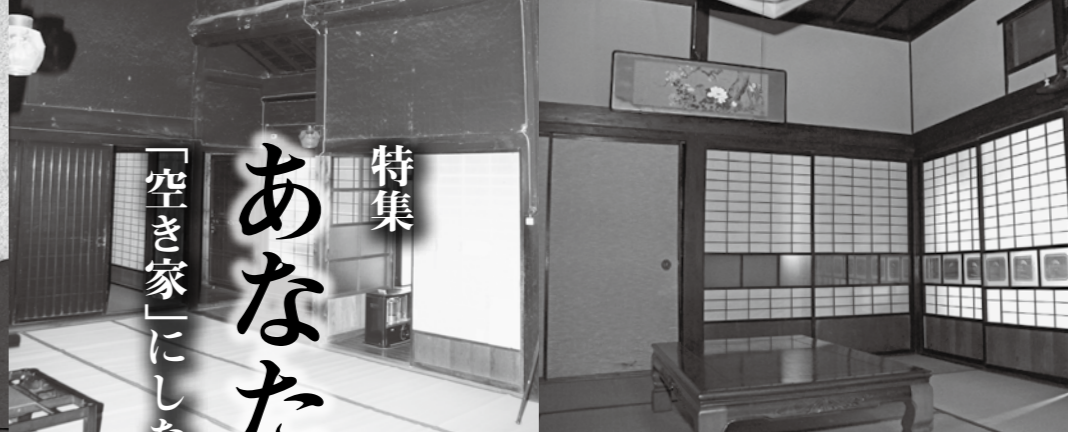
また、少子化も影響しています。空き家の所有者に子どもがいない、一人っ子で親族もいないといったケースで所有者が亡くなる無縁空き家も増えています。

なぜ、空き家が増えているの？

特集

# あなたの家は大丈夫？

「空き家」にしない、空き家を「問題化」させないために



どんな空き家が増えているの？

親が亡くなった後、子どもたちが実家に戻ればいいのですが、すぐに生活環境を変えることが難しく、実家に戻れないケースが想像できます。近くに住んでいけば管理もできますが、県外など遠くに住んでいる場合にはなかなかそれも難しい。隣家などに管理を頼まれる場合もありますが、煩わしさから、敬遠されることもよくある話で、気づけば放置状態ということも少なくありません。



最も問題なのは  
空き家の  
危険家屋化

空き家は、きちんと管理されていれば問題ありません。前述のように管理できなくなると問題が出てきます。そして、最も問題になっているのが、老朽化して放置されている二戸建ての住宅です。なぜ、問題なのか。それは、自然災害などによって倒壊する恐れがあり、隣家や通行人など周囲に危険が及ぶ可能性があるからです。また、崩れかかった家は景観を損ねるだけでなく、不法侵入や獣などのすみかになったり、放火の対象になったりするなど、環境面、防犯面で悪影響を及ぼす危険性があります。

「お宅の隣が空き家になって、随分経つよう」「そうじゃのう。盆には墓参りに息子が帰って来て泊まったり、たまに帰ってきて周囲の草を刈ったりしようるけん、空き家言うても完全な空き家じゃないがの」

「そうなんじゃ。じゃけど、人が住まんようになると家はすぐに傷むけえの。うちの隣の息子は東京におつて、ほとんど帰って来んけん、ひさしが落ちたままになつてる。つぶれるのは時間の問題じゃが、危のうていけんし、正直何とかしてほしいが……」

とある日常の会話です。

これを聞いて皆さんはどう思われるでしょうか。

うちの隣は空き家という方も増えていると思います。そんな増えている空き家について考えてみましょう。

そもそも「空き家」って何だろう？

皆さんは「空き家」と聞いて、どんな家を想像しますか。空き家とは、「普段人が住んでいない家」で、一般的には一軒家のほかアパート・マンションなど賃貸や売却のための住宅も含まれます。たまに管理に帰っていても、普段から住んでいないければ「空き家」であり、家の傷みも出やすくなるので注意が必要です。

全国的に空き家が増えていくことは、広報しようばら3月号でお知らせしているとおりで、市内でも年々増えているのが現状です。



空き家の危険家屋化を防ぐために

空き家調査を実施します

市内でも空き家が増えていきますが、いかにして危険な空き家にしないかが重要です。まずは、市内にどのくらい、どのあたりに空き家があるのかを把握するために、現在調査を実施しています。

この調査は、庄原市が委託した調査員が、公道などから空き家と思われるものの外観を目視して行います。調査員は「空き家調査員」の腕章を着け、市が発行した証明書を持っています。

この調査を基に、今後の空き家対策を進めていきます。

老朽化した危険な住宅を取り崩す経費の一部を補助します

老朽危険建築物除却促進事業補助制度

老朽化した危険な建物で、近隣や道路に被害を与える恐れのある建築物の除却工事を行う方に対し、費用の一部を補助する制度です。対象となる建物の所有者または相続人、対象建築物のある土地の所有者、相続人が申請できます。

補助金額  
対象経費の3分の1  
(上限30万円)

問い合わせ  
都市整備課都市整備係

0824・73・1151



都市整備課 都市整備係 係長

あまの・たけみ

天野武美さん



# 空き家を 負の遺産に しないために

「空き家になってしまったけれど、どうしたらいいものか」「愛着があるし崩したくない」。こうした悩みを抱えている方もいるのではないだろうか。一方で、空き家を求める人が全国で増えてきています。単に住むだけでなく、楽しみながら空き家を活用する動きも大きくなっています。市内でもこうした動きを捉えた活動が広がりを見せ始めています。



11月19日・20日の2日間、板橋町の空き家で「空き家活用フェス」が開催され、まちづくりやライフスタイル、相続など、さまざまな視点から「空き家」を考える機会となりました。

## 空き家バンク利用者の声

### 庄原市への移住が実現！



利用登録者  
もとひろ まさひろ  
**本平 正宏さん**  
(広島市出身)

前職の仕事の関係で庄原市に縁ができ、移住に向けて空き家バンクを利用して空き家を見て回りました。購入の決め手となったのは、修繕がしており、状態も場所も良かったこと。物も整理されており、すぐに住める状態でした。おかげで庄原への移住を実現できました。



バンク登録者  
おおた いはむ  
**太田 勇さん**  
(東京都練馬区在住)

### いつまでも大切に

もともと中古で購入した家でしたが、前の所有者の方がとても大切にされてきた家で、その方の思いとともに管理してきました。年齢的なことや距離的な面でもなにかにお譲りしたいと考えていましたが、良い方に購入いただいとて喜んでいきます。

## 空き家を活用する



学生団体メールハウス 代表  
こんどう ゆうすけ  
**近藤 裕祐さん**

### 古民家を活用し 学生と地域をつなぐ

餅つきなど楽しいイベントを企画しながら、県大生と地域の交流をテーマに活動しています。会場は、板橋町にある古民家。空き家であった古民家を、庄原青年会議所などと協力して補修し活用しています。会場に空き家を選んだのは、負の遺産と考えられているものを有効活用できるからです。空き家は使われなくなると、朽ちていくだけでなく動物のすみかになることもあります。空き家を活用することで、その傷みを抑え、持ち主や地域の役に立てるのではありません。



一般社団法人庄原青年会議所  
しょうばらの地域活性委員会 委員長  
いっさい いっせい  
**飯田 一生さん**

### 空き家問題解消へ 一緒に取り組みましょう

庄原青年会議所では、1年かけて、まちのためにやることをしようと、空き家問題に取り組みできました。その取り組みの一環として、空き家である築80年の古民家を、持ち主の理解を得ながら、地域の子どもたちと一緒に色塗りをするなどしてボランティアで補修しました。

先日、その古民家を会場に「空き家活用フェス」と題してイベントを開催し、講演会や学生による料理の提供など、参加者と一緒に空き家の活用についていろいろな観点から考えることができました。

## 生前整理の話をしてしよう

傷んだらアウト!!

そもそも空き家の活用ができるのは、家についての情報が整理され、必要な手続きができてからに他なりません。本当の問題は、適切な措置を取らずに、空き家を問題化させてしまっていることなのです。

問題化する状況を生んでいるのは多くの場合、家を受け継いだ相続人で、次のような理由により空き家状態のままにしていることが多いようです。

- ・家や土地について正確に把握していない。
- ・家族間、相続人間で家をどうするか話が十分にされていない。
- ・過去の相続登記ができておらず、売却が困難。
- ・家財が多く未整理のため、片付けが困難。

空き家の状態が長引くと、傷みが出て急に活用が難しくなり、やがて危険家屋になってしまいます。

「いつか空き家になりそう」な状況があっても、いついつい今後についての話し合いを避けてしまいがちですが、早い段階から家族・親族でよく話し合い、空き家になった場合に放置しないための準備を進めておくことが大変重要です。

また、今住んでいる人が元気なうちに家財の整理を進めておくことも非常に大切です。家の事が分かる人が整理しておかないと、後に残された人の負担が増えます。

なお、よく相談があるのが「行政で何とかしてもらえないか」というものです。しかし、個人資産は個人が管理するのが大原則で、管理不全の場合は所有者が責任を問われます。また、行政は寄付も受けることができません。家は、自分たちでどうにかするしかありません。

## 人と「空き家」をつなぐ

とはいえ、空き家を求めても、空き家がどこにあるのかわからなければ、移住や活用は進みません。市はそうした空き家情報を収集し、空き家を求める人に情報を提供する「しょうばら空き家バンク」を平成19年度から運用しています。人と空き家をつなぐツールとして、ぜひ活用してください。

10月1日からウェブサイトを用意し、公開しています。地域や価格などの条件から物件を検索できたり、会員登録をすることで、物件を比較する機能を使うことができたりと利便性が大幅に向上しています。

しょうばら空き家バンク  
ウェブサイト  
<https://shobara-akiya.jp/>



### Point

空き家の資産価値は思ったより低く、築年数が古いものについてはほとんど価値がありません。「思い入れがあり、建築に3千万円かかったのに同等の価格設定で売りたい」という気持ちは分かりますが、金額を上げると買い手がつかず、空き家状態が長引いて傷みが出て、さらに価値が下がってしまいます。自分が購入者になったつもりで、購入後の管理・改修費なども考えながら金額を設定するのがポイントです。

### Interview



庄原市総合サービス株式会社  
(空き家バンク業務受託者)  
さかもと たかし  
**坂本義孝さん**

県外などお住まいが遠隔地の場合は、なかなか管理が難しいという方もいらっしゃると思いますが、空き家バンク登録物件の鍵を預かるサービスを行っています。

空き家をお持ちで管理に不安がある方は、お気軽にご相談ください。

### 問い合わせ

庄原市総合サービス株式会社  
0824-75-0600  
いちばんづくり課定住推進係  
0824-73-1257





# 帰ろうや倶楽部会員募集中!

## 庄原の情報をお届けします!

いちばんづくり課定住推進係 ☎0824・73・1257

帰ろうや倶楽部では、市外で暮らす本市出身者や庄原市への移住を希望する若者、またはその家族に、市内の企業や市民団体などから提供された庄原での就職や住まいといった、定住に必要な情報やふるさと情報をお送りし、帰郷・定住を呼びかけています。

### 個人会員を 随時募集しています

現在市外で暮らしている方で、いずれは本市に帰郷したい方、帰ってきてもらいたいと希望するご家族の方が入会することができます。

#### 【特典】

庄原の情報定期的にをお届けします。月に1回程度、就職情報、イベント情報、移住支援情報をお届けします。郵送またはメールでお届けしています。が、市ホームページや市公式フェイスブックなどの掲載情報にも簡単にアクセスできるメールでの受け取りをおすすめしています。

#### ☆家族の方は会員登録のご検討を

就職や進学などで庄原市を離れるお子さんに、将来は地元へ帰ってきてほしいという方は、お子さんに登録を勧めてみてください。どこに住むかは本人次第です。強制できるものでもありませんが、庄原の情報が定期的に届くことにより、帰郷を考えるきっかけになるかもしれません。

ぜひこの機会に、ご検討ください。



### 応援事業所・団体会員に なりませんか?

趣旨に賛同する市内企業や自治振興区、市民団体などが登録できます。求人情報・ふるさと情報・活動PRなどの情報をご提供ください。

#### 【特典】

個人会員へ情報提供するほか、市のホームページで事業所・団体を紹介します。ハローワークの情報提供のほかに、登録事業所・団体の採用情報を直接個人会員にお届けすることができます。会社などの採用案内ほか、PR媒体としてもご利用ください。



### 申し込み方法

#### ●個人会員

本庁・各支所に備え付けの申請書(市ホームページからもダウンロードできます)に必要事項を明記のうえ、郵送またはFAXで、いちばんづくり課定住推進係まで送付してください。メール(tejin@city.shobara.lg.jp)でも受け付けています。

#### ●応援事業所・団体会員

専用申請書(市ホームページからもダウンロードできます)に必要事項を記入・押印の上、持参または郵送してください。

#### 問い合わせ

いちばんづくり課定住推進係  
☎0824・73・1257  
☎0824・72・3322

## 75歳以上のみの世帯の

# 「雪下ろし」を支援します

〜庄原市高齢者世帯雪下ろし支援制度〜

市は、高齢者が降雪期に安心して生活できるように、市内の高齢者世帯を対象とした雪下ろし支援制度を設けています。

#### 対象者は?

- 市内に住民票があり、現に居住している75歳以上の方のみで構成する市民税非課税の世帯。
- また、75歳以上の方以外に、次のいずれかに該当する方が同居している世帯も対象となります。
- ① 1級〜4級の身体障害者手帳所持者
- ② ①から④までの療育手帳所持者
- ③ 1級または2級の精神障害者保健福祉手帳所持者
- ④ 15歳未満の方

#### 対象となる作業は?

- ① 屋根からの雪下ろし
  - ② 屋根から下ろした雪の除去
  - ③ 屋根から落ちた軒下の雪の除去
- ※ただし、現在住んでいる住宅に限り  
ます。



#### 支援内容は?

●経費の助成 対象作業に要した経費の3分の1以内の額(千円未満は切り捨て)を助成します。同一年度内に受け取れる助成金の上限は3万7千円です。

●業者の紹介 対応が可能な業者を紹介いたしますので、お問い合わせください。

#### 申請方法は?

業者などに依頼した雪下ろし作業が完了した後、交付申請書に実施状況報告書と領収書の写しを添えて申請してください。

#### 申請窓口・問い合わせ

高齢者福祉課高齢者福祉係  
☎0824・73・1165  
または各支所地域振興室・市民生活室  
(西城支所は、しあわせ館内)

## 除雪作業に ご理解とご協力を

12月に入り、市内各地域で積雪が予想されます。

県と市は、積雪時の通行を早期に確保するため、除雪に努めています。しかしながら、除雪作業は積雪量や障害物などで時間がかかる場合もあり、道路の幅や構造によっては、除雪できない道があります。

除雪作業を効率よく行うために、次のことにご協力をお願いします。

- 車道・歩道上の除雪作業の障害となるものは事前に撤去するなどの対応をお願いします。また、道路脇に設置されている電気柵などは除雪作業により破損する恐れがあるので、ご注意ください。
- 家や駐車場の出入口は特に注意して除雪していますが、状況によってはふさいでしまう場合があります。

●道路脇の樹木の枝が積雪でたわみ通行の障害になる場合は、樹木の所有者の責任で撤去するなどの対応をお願いします。特に危険な場合には、伐採することがあります。



#### 問い合わせ

【国道・県道の除雪】  
広島県北部建設事務所庄原支所土木課  
☎0824・72・2015

【市道・歩道の除雪】  
建設課土木係  
☎0824・73・1152

西城支所地域振興室  
☎0824・82・2181

東城支所産業建設室  
☎08477・2・5241

口和支所地域振興室  
☎0824・87・2113

高野支所地域振興室  
☎0824・86・2113

比和支所地域振興室  
☎0824・85・3003

総領支所地域振興室  
☎0824・88・3065





# 交通事故に気をつけましょう

2日連続で痛ましい事故が発生しました

危機管理課危機管理係 ☎0824・73・1206

10月26日の夕方、西城町の国道で道路を横断中の高齢女性が、高齢ドライバーの運転する軽四貨物車にはねられて重体となる交通事故が発生しました。

さらに、その翌日の夕方には、戸郷町の市道で大学生が運転していた普通乗用車と原付バイクが正面衝突し、原付バイクを運転していた女子大学生が死亡するという痛ましい交通事故も発生しています。

ドライバーは今一度初心に帰り、運転の基本である「安全の確認」「シートベルトの着用」「安全速度での走行」「歩行者の保護」を徹底し、思いやりのある運転を心がけましょう。



## 冬の運転に注意

また、これからの季節は積雪や凍結によるスリップ事故の発生も懸念されます。

次のことに注意し、事故に遭わないように気をつけましょう。

### 【走行のポイント】

- ▼速度を落とし車間距離を十分にとり周囲の状況に注意する。
- ▼停止するときは早めに減速する。
- ▼急ハンドル、急ブレーキなど「急」のつく運転操作をしない。
- ▼吹雪などで視界が悪いときには無理をして先に進まない。



## 安心・安全な毎日のために

### 冬は特に火の用心！

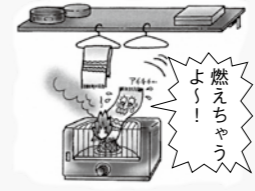
この時期は空気が乾燥し、暖房など火を扱う機会が増えるため、火災が発生しやすくなります。火災のない年末年始を過ごすため、次のことに注意しましょう。

### △暖房器具の取り扱いに注意！

誤った使い方が「思わぬ火災」につながる場合があります。

### 《今すぐチェック！》

- ▼使用前に点検を行う。
- ▼カーテンや布団などの近くで使わない。
- ▼暖房器具の上で洗濯物を干さない。
- ▼スプレー缶は破裂する危険があるので近くに置かない。
- ▼電気ストーブやこたつなどの電気コードに荷重を掛けない。また、たこ足配線をしない。
- ☆石油ストーブや石油ファンヒーター
- ▼給油する時は必ず火を消す。
- ▼ガソリンを給油しない。
- ▼燃料タンクのふたはしっかりと締める。



### 入浴事故に注意！

寒い時期は、温度差による血圧の急激な変化が原因で起こる入浴事故が多く発生しています。高齢の人や持病がある人に多く起こる傾向にありますが、健康な人にも起こる可能性があります。自分にも起こりうるものとして捉え、普段から注意しましょう。

### 《入浴事故の予防策》

- ▼浴室内だけでなく脱衣所も暖めて浴室内との温度差を小さくする。
- ▼食後すぐは血圧が下がりがやくなるので入浴までの時間を空ける。
- ▼長時間の入浴を避け、浴槽内では急に立ち上がらない。



平成28年度 全国統一防火標語 『消しましょう その火その時 その場所で』

庄原消防署 ☎0824・72・9911  
東城消防署 ☎08477・2・4005

# 国勢調査 2015

## 人口等基本集計を公表

行政管理課広報統計係 ☎0824-73-1159

広島県	人口	2,843,990人【全国12位】 →前回調査(平成22年)より16,760人(0.6%)の減少
	世帯数	1,211,425世帯【全国11位】 →前回調査(平成22年)より26,458世帯(2.2%)の増加
庄原市	人口	37,000人【県内11位】 →前回調査(平成22年)より3,244人(8.1%)の減少
	世帯数	14,455世帯【県内11位】 →前回調査(平成22年)より814世帯(5.3%)の減少

### 公表資料

- 広島県ホームページ「国勢調査」  
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/toukei/kokuseityosa.html#h27>
- 総務省統計局ホームページ「平成27年国勢調査」  
<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/kekka.htm>



総務省統計局は10月26日に、昨年10月1日を基準に実施した「平成27年国勢調査」の人口等基本集計を公表しました。

これを受け、広島県が広島県結果を公表したのでお知らせします。また、県と庄原市の人口の、前回調査からの変化は表の通りです。調査へのご協力ありがとうございました。

※この結果は、提出された調査票の審査や、疑義照会を経た精緻な値となっておりますので、総務省統計局が2月に公表した人口速報集計結果とは数値が異なります。

## 母子保健 だより

### 子どものスキンケア

保健医療課健康推進係 ☎0824・73・1255



子どもの肌はとてもデリケートで、大人と比べると皮膚が薄く、細菌や化学物質の侵入を防ぐバリア機能が未熟です。そのため、さまざまな刺激により皮膚トラブルを起こしやすい状態になっています。

最近では、壊れた皮膚の細胞の隙間からアレルギーが侵入することによって食物アレルギーが引き起こされる場合があることが分かり、食物アレルギー予防のためにも皮膚を良い状態に保つことが必要とされています。

皮膚は汚れがたまったり、乾燥したりするとバリア機能が壊れてしまいます。スキンケアは赤ちゃんの時期から必要です。冬は特に乾燥しやすい季節なので、下記のポイントを参考にして、皮膚トラブルを予防しましょう。

- ▼ゴシゴシこすらず手またはやわらかい布で優しく洗う。
  - ▼汚れが残る部分(耳・首の後ろ、ひじ・ひざの内側と外側、足の付け根、脇の下)や汚れやすい部分(お尻、口周り、頭皮)をしっかり洗う。
  - ▼泡が残らないようにしっかりと洗い流す。
  - ▼乾燥の原因になるため、石けんの使用は1日1回程度にする。
  - ▼洗った後はタオルで水気を吸い取るようにやさしく拭く。
  - ▼保湿剤を塗るなどして乾燥を防ぐ。
  - ▼日中の外出は日よけや帽子で紫外線を防ぐ。
  - ▼皮膚を傷つけないように爪は短く切っておく。
- ※皮膚トラブルを防ぐためには、日常生活において清潔や保湿を心がけることが基本ですが、症状によっては早めに小児科や皮膚科を受診して適切な治療を受けることも必要です。



### いちばんづくり課 山を舞台に新たな出会い アウトドアで縁結び

「出会いイベント」の第4弾となる「アウトドアで縁結び」を11月12日、ひろしま県民の森をメイン会場に開催し、30〜40代の男女合わせて18人が参加しました。

参加者はまず、市役所からバスに乗り込み、西城町熊野にある熊野神社へ向け出発。神社そばにある熊野農産物加工施設「イザナミ茶屋」で比婆山にまつわる紙芝居を鑑賞し、温かいお茶とお菓子を味わった後、熊野神社を参拝しました。

その後、ひろしま県民の森へ移動し、参加者全員で昼食作りをチャレンジ。班に分かれ、アヒージョと鮭のホイル焼きを作りました。そのほかにも笹茶や貝だくさんの味噌汁などアウトドアならではの料理を楽しめました。

お腹を満たした後は、メインイベントの山登りを開始。気持ちの良い秋晴れの中、見頃を迎えた紅葉と会話を楽しみながら、目的地の展望園地へ約40分かけて到着。そこから望む山並みは絶景で、参加者は達成感に浸っていました。

このイベントを通じて3組のカップルが誕生しました。

しばらく縁結び事業では随時、会員を募集しています。詳しくは、ウェブサイト「縁結びホームページ」をご覧ください。庄原市総合サービス株式会社（☎0824・75・0600）まで。



テーブルを囲み昼食を楽しむ



熊野神社で縁結び祈願



展望園地から山並みを望む

### いちばんづくり課 県北暮らしの魅力をもPR 三次・庄原合同定住フェア

庄原市と三次市が主催する「三次・庄原合同定住フェア」を10月22日、広島市安佐南区のイオンモール広島祇園で開催しました。

来場者の移住相談や空き家相談を受けたほか、庄原・三次への移住に関する意向調査を実施。回答者へは両市産の新米をプレゼントしました。

会場には両市のキャラクターであるヒバゴン（庄原市）と、きりこちゃん（三次市）も登場。また、子ども体験コーナーとして、両市のキャラクターをあしらったアイロンビーズマグネットづくりを実施しました。家族連れなど約450人の来場者に県北をPRし、大盛況のうちに終了しました。



会場は多くの家族連れなどでにぎわった

### 生涯学習課 アスリートに学ぶバレーボール 庄原市レベルアップスポーツ教室（バレーボール）

10月22日、今回で9回目となる、庄原市レベルアップスポーツ教室バレーボール教室を庄原市総合体育館で開催し、市内の小学生60人が参加しました。

講師にマツダ女子バレーボール部の皆さんを招き、参加者は楽しい雰囲気の中にも、真剣にバスやレシーブの基本技術などを学びました。

参加した荒木美侑さん（板橋小4年）は「マツダ（女子バレーボール部）の皆さんに1年ぶりに会えてうれしかったです。できなかつたことができた。来年もまた参加したいです」と話していました。



楽しく真剣に指導を受ける

### 高齢者福祉課 市長が長寿者を表敬訪問 100歳以上の方に敬老祝金を贈呈

木山耕三市長が、10月、長寿を祝福し敬老の意を表するため、市内の百歳以上の長寿者を訪問し、敬老祝金を手渡ししました。あわせて、本年度中に満百歳を迎える方（基準日/9月15日の「老人の日」）に贈られる内閣総理大臣からのお祝い状と記念品の銀杯を手渡しました。

本年度の敬老祝金贈呈対象者（大正6年3月31日以前に生まれた方）は77人（男性9人・女性68人）、市内最高齢者は女性が満106歳の方となっています。



100歳のお祝い状を受け取る村田マサノさん（東城町）

### 危機管理課 地域防災力向上を目指す 平成28年度庄原市総合防災訓練

市と市消防団ならびに備北地区消防組合の主催により、11月20日、東城中央運動公園周辺一帯で、平成28年度庄原市総合防災訓練を実施し、官公署をはじめとする6団体、約200人が参加しました。

訓練は、記録的集中豪雨により、市内各地で多数被害が発生しているという想定で行われ、避難訓練をはじめ、建物火災防ぎよ訓練、負傷者搬送訓練、非常食炊き出し訓練など全10種目の訓練を実施しました。

訓練終了後の講評で、備北地区消防組合庄原消防署の熊野美博署長は「災害は規模が大きくなるほど、救助や支援の遅れが想定される。各機関で連携を密にして備えたい」と話しました。



救助訓練の様子

### 教育指導課 読書の魅力発信！言葉の力に感動 庄原市教育フォーラム

10月29日、「読書活動」をテーマに庄原市民会館で教育フォーラムを開催し、約600人が参加しました。

まず、高小全校児童児童が「古典の名文暗唱」を披露し、日本の古き良き美しい言葉や伝統ある作品などの名文を、言葉を大切にしながら胸を張って発表しました。

続いて、市内7つの中学校からそれぞれ1人の生徒が出演し「書評合戦（ビブリオバトル）」を行いました。これは、互いのお気に入りの本を紹介し合うもので、読書の楽しさや魅力、本や言葉の素晴らしさなどについて、5分の持ち時間が目いっぱい使い、それぞれが自分の思いを熱く語りました。小・中学生が堂々と自分の思いを表現する姿に会場から大きな拍手が送られ、来場者も「一番読みたくなった本」に投票しました。

最後に、フリーアナウンサーの神田康秋さんが「どっこい神田の読書人生 夢を学ばば夢が叶う」と題して、読書から学んだ生き方や、夢に向かってあきらめず行動することの大切さなどについて、アナウンス実況も交えながら、笑いあり涙ありの講演をしました。

また、ロビーでは、読書活動を推進する子どもリーダーを育てる「子ども司書」養成講座の活動紹介、作品展示を行いました。

参加者からは「読書について考えるとても良い機会になった」「中学生が紹介した本は全て読みたい」などの声が聞かれました。



高小1年生による名文暗唱「いろはうた」



中学生による書評合戦（ビブリオバトル）



「子ども司書」養成講座作品展示





## 6年ぶりの興行に沸く

大相撲庄原場所・10/26

No.1

庄原市総合体育館で、秋巡業大相撲庄原場所が開催されました。会場には、実行委員会が招待した市内の小学生を含め約2,400人の観衆が集まり、迫力ある取組や相撲甚句、相撲の禁じ手を面白おかしく紹介する初切など、巡業ならではの力士とのふれあいを楽しみました。

取組では、横綱・日馬富士関をはじめとする約110人の力士が土俵上で押しやり組んだりと迫力ある相撲を取り、突っ張りなどの技が繰り出されると、会場はひととき歓声で沸きました。結びの一番では、日馬富士関と鶴亀関の横綱同士が四つに組み合う貫禄ある取組に、大声援が飛び交いました。

また、口北小学校の全校児童40人が力士に挑むちびっこ相撲も行われ、児童は二人がかりでもびくともしない力士に、簡単に持ち上げられたり、投げられたりしながら力士のパワーに驚いていました。

観客は「以前見に行った地方巡業では見ることができなかったものが披露され、イベントの構成が面白かった」「握手会などで力士を間近で見て、大きさやオーラを感じることができた」「取組では子どもから高齢の方まで声援を送ったり、力士が手を振ってそれに応えたりと、地方巡業ならではのアットホームな雰囲気もあった」などと話していました。



▲3横綱が庄原市総合体育館にそろい踏み



▲相撲の禁じ手を面白おかしく紹介する初切（しよっきり）



▲日馬富士関(左)と鶴亀関(右)の結びの一番



▲ちびっこ相撲で宙に舞う口北小学校児童

## 台湾で初プロモーション

外国人観光客の誘致を目指す

11月6日～7日は、30万人以上が来場した国際旅行博で、庄原市をはじめ山陰山陽の観光チラシなどを配布し、本市観光の魅力をPRしました。また、8日～9日は、県観光課と一緒に台北市内の大手旅行会社9社を訪問し、本市の観光スポットなどを紹介しながら誘客を依頼しました。参加した庄原市観光協会の坂田忠則専務は「台湾旅行者は4泊5日で山陰山陽のA級観光地をめぐるコースが多い。旅の中継拠点として、本市の観光スポットへの立ち寄りや宿泊も検討する旅行会社もあり、大いにチャンスがある」と手応えを感じていました。



本市観光の魅力をPR

## フットサルの基本技術を学ぶ

庄原市レベルアップスポーツ教室（フットサル）

秋晴れの11月13日、恒例となった庄原市レベルアップスポーツ教室フットサル教室を、かんぼの郷庄原フットサルコートで開催し、市内の小学生26人が参加しました。講師にミズノフットサルクラブの山上肇さんら3人を迎え、参加者は蹴り方やドリブルなどの基本動作の練習やミニゲームを行うなど爽やかな汗を流していました。参加した松島優笑くん（板橋小3年）は、「先生から優しく蹴り方を教わったり、友達ができたりして楽しかった。これからもいろいろなことにチャレンジしたいです」と話していました。



秋空のもとコートを駆ける

## グラウンド・ゴルフで健康づくり

第11回庄原市民健康づくりグラウンド・ゴルフ大会



交流しながら勝負を楽しんだ

秋が深まる10月22日、庄原市田総の里スポーツ公園で、第11回庄原市民健康づくりグラウンド・ゴルフ大会を開催し、市内各地域の予選を勝ち抜いた30チーム150人が参加しました。参加者は所属チームの枠を越えたグループに分かれてプレーし、ホールインワンの成果を発揮して熱い戦いを繰り広げました。真剣勝負の中にも、多くの交流が生まれるなど、参加者は自然を満喫しながら健やかな時間を過ごしていました。大会の成績は下の表の通りです。

女性部						男性部					
7位	6位	5位	4位	3位	優勝	7位	6位	5位	4位	3位	優勝
東城女性C	総領女性	東城女性B	庄原女性D	東城女性A	東城女性C	庄原男性A	西城男性A	口和男性	東城男性A	東城男性B	庄原男性D
関キクエ	中川種子	井上ミヨコ	倉谷利美子	吉原みえ子	花田弘子	曾根清馬	道上俊治	宮野清志	佐々木満	下川卓二	咽原宏行
					下田春美					山脇孝三	

女性部			男性部		
3位	準優勝	優勝	3位	準優勝	優勝
女性B	女性A	女性C	男性高野	男性東城A	男性庄原D
国原幾子	井上ミヨコ・村上秀子	小塩麗子・橋根公子	藤原公昭	和正敬一	永宗喜伴
		小林節子・市川千枝	土居武司・藤原明登	岩田七郎・高橋照二	定宗静磨・山脇孝三
		渡辺照子・船頭ムツコ		咽原宏行	
		花田弘子・関キクエ		岩田七郎・高橋照二	
		杉ヨシコ・遠藤良子		岩田七郎・高橋照二	





## かしこい消費者になろう!

リーダー研修会 in 庄原「消費者問題研修会」・10/25 **No.4**

庄原市ふれあいセンターで、広島県・庄原市地域女性団体連絡協議会主催のリーダー研修会 in 庄原「消費者問題研修会」が開催され、71人が参加しました。

研修会では、最近の消費者トラブルの事例や医療・年金・介護の問題についての講演や劇が行われ、参加者は、「消費者は弱い立場に置かれていることを正しく知り、かしこく買物や契約をする」「どんな小さなことでも誰かに相談する」など、かしこい消費者になるコツを学びました。

参加者からは「人生まだまだ勉強があるのだと感じた。今日の話をも身につけていきたい」という声が聞かれました。



▲詐欺についてわかりやすく演じた「劇団あじさい」の皆さん

## 治水で安心・安全な生活を

庄原ダム竣工式・10/27 **No.3**

川西町上川西で、8月から運用開始している庄原ダムの竣工式が執り行われました。

庄原ダムは県が事業主体となり、洪水防止、水道水源の確保、農業用水の安定供給および河川の保全を目的とした多目的ダムとして、計画してから16年かけて西城川支川の大河川に建設されました。

竣工式には湯崎英彦知事や亀井静香衆議院議員、木山耕三市長をはじめ、県や国、市、地元の関係者約70人が参加しました。

秋空の下、テープカットやくす玉の開披、地元の高小学校児童による楽器演奏など記念行事も行われ、ダムの運用開始を祝いました。



▲テープカットで竣工を祝う

## 水道災害に備える

日本水道協会広島県支部の合同防災訓練・10/18・19 **No.6**

10月18日・19日の2日間、日本水道協会広島県支部が主催する第11回合同防災訓練が庄原市上野総合公園などを会場に開催されました。

この訓練は、県内で水道災害が発生した場合、県内の水道事業者相互が協力して災害初期の緊急対応を行うための訓練で、庄原市を震源としたマグニチュード7の地震が発生し、水道施設が被害を受けたことを想定して行われました。

県内の19市町から職員70人、給水車10台が応援隊として参集し、漏水する水道管を修復する応急復旧作業や、保育所や自治振興センターで応急給水活動などを行いました。



▲県内市町の職員が協力し水道管修復を訓練

## 火災のないまちを目指して

秋の防火パレード・11/9 **No.5**

庄原消防署と庄原幼稚園は、11月9日に市役所本庁舎前の市民ひろばで秋の防火パレードを実施しました。これは、11月9日から15日まで行われた「秋の全国火災予防運動」に合わせ、火災予防の意識をいっそう高め、火災の発生を防ぐことを目的に実施するものです。

当日はあいにくの雨模様で、パレードは中断となりましたが、園児による鼓笛演奏が行われ、元元よく火災予防を呼びかけました。パレード終了後、庄原消防署は園児たちの協力に感謝し、紙芝居を贈呈しました。

空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節になりました。火の取り扱いには十分に注意しましょう。



▲息のそろった演奏で防火を呼びかける園児たち

## 母から子へ 受け継がれる伝統

東城まちなみぶらり散歩ギャラリー・お通り **No.2**

10月29日から11月5日までの8日間、街道東城路（東城町市街地）で「東城まちなみぶらり散歩ギャラリー」が開催されました。街道沿い約600mが丸ごとギャラリーとなり、各家のお宝や手作り品などが並び、沿道では東城高校生徒によるボランティアガイド「東城応援隊」が、来訪者にマップを配り見どころを案内しました。

11月3日には、江戸時代から続く伝統行事「お通り」が東城小学校をメイン会場に開催されました。矢よけの武具を装飾した母衣をはじめ、大名、武者、華童子など、総勢約150人からなる行列が市街地を練り歩き、沿道は市内外のカメラ愛好家や見物客でにぎわいました。親子2代で母衣を背負った子どもは「母親と同じ経験ができてうれしい。この経験を後輩へ伝えたい」と満足そうな表情を浮かべていました。

1~4\_お通り 5・6\_東城まちなみぶらり散歩ギャラリー



5 笑顔で案内する東城応援隊員



6

「お通り」鉄砲隊と大砲隊の発砲の動画はこちらから見られます!



庄原いちばん  
動画CMコンテスト  
YouTubeチャンネル  
<https://youtu.be/1JVRzhYni6Y>





## 火災予防に貢献

庄原市消防団高野方面隊防火パレード・11/6

No.12

秋の火災予防運動に合わせ、庄原市消防団高野方面隊防火パレードが開催されました。上高自治振興センターで行われた出発式では、副方面隊長の氏名呼称と笛の合図により整列した24人の消防団員が威勢良く返事をした後、12台の消防車両に駆け足で乗り込みました。その後、上高地区・下高地区に分かれ、火災予防を呼びかけながら町内をパレードしました。

堀江修治方面隊長は「多くの市民が見守る中で出発式を開催することにより、消防団員の士気が高まっていると思う。また、パレードをすることで各自治会の地理や水利を確認することもできるため、今後も続けていきたい」と話していました。



▲姿勢を正して整列する消防団員

## 除雪機械とふれあう

除雪機械ふれあい体験・11/11

No.11

中国横断自動車道尾道松江線の口和除雪基地で除雪機械ふれあい体験が開催され、聖慈園保育所園児と口南小学校児童の全41人が参加しました。

この事業は、国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所が主催し、普段身近で見ることの無い除雪機や警察パトカーとのふれあい体験を通して、道路の除雪作業に関心を持ってもらうことを目的としています。

子どもたちは、DVDを見るなどして、除雪機械や作業について学んだ後、除雪トラックや除雪ローダー、ロータリー除雪車、凍結防止剤散布車、警察パトカーに一人一人乗車し、楽しんでいました。



▲子どもたちは除雪機械に興味津々

## 金藤理絵選手の功績をたたえて

記念碑除幕式・11/13

No.8

金藤理絵選手（Jaked・山内町出身）がリオデジャネイロオリンピックで金メダルを獲得したことを記念し、山内自治振興区は金メダル記念碑を建立。その除幕式が「山内ふるさと祭」に併せて行われました。

記念碑は、山内自治振興区が地域の皆さんから寄付を募り、多くの地域の方や児童によく見えるようにと、山内小学校の校門の前に建てました。

式典の中で市川基矩区長は、「山内小学校へ登校する児童の皆さんや地域の方々がこの記念碑を見て、金藤さんの18年間の努力を思い浮かべ、今日も一日頑張ろうという気持ちになってもらえることを願っています」と話しました。



▲除幕された記念碑

## 庄原市と首都圏をつなぐ

ひろしま里山ウェブ拡大プロジェクト現地実習・10/21~23

No.7

地域貢献に意欲を持つ首都圏の若い世代が、体験や交流を通じて中山間地域の課題解決に向けたプランを作成する「ひろしま里山ウェブ拡大プロジェクト」の現地実習が市内で行われ、4人の実習生が参加しました。

実習生たちは庄原暮らしお試し体験施設「くちわの家」を拠点に、空き家の見学や市内で活動する人たちとの交流をはじめ、山内自治振興区で取り組むブランド米作りに使用する竹の切り出しや、「暮らし宿お古」でのまき割りのほか、くど（かまど）での料理づくりなどを体験しました。実習生たちは今回の現地実習や首都圏でのグループワークを経て、本市の課題解決に向けたプランを作成し、来年2月に発表する予定です。



▲竹の切り出し作業を体験する実習生たち

## 地域で男女共同参画を推進

総領自治振興区「第2回女性会議」・10/28

No.14

総領自治振興センターで総領自治振興区主催の「第2回女性会議」が開催され、23人が参加しました。女性会議は、女性を取り巻く課題について考えることや参加者相互の交流・情報交換を目的としています。

会議では、中国新聞の記者高橋清子さんが「女性の身近に起こっていること」と題した講演を行い、「男女共同参画社会実現には、女性の長時間労働の削減や、意思決定の場に女性を増やし多様な就労形態を支援する社会的な基盤を整備することが必要」と話しました。

講演後には「地域で女性が参画しやすい雰囲気や仕組みづくりが必要」「女性の声をもっと発信していきたい」などの活発な意見交換が行われました。



▲男女共同参画社会の実現に向けて話し合う

## 自らの手で化石を掘り出す

比和自然科学博物館公開講座・10/22

No.13

比和自然科学博物館の公開講座「化石の観察会」が開催され、市内から親子連れなど30人が参加しました。

参加者は、講師の指導を受けながら、事前に採取された石に“たがね”を当ててハンマーで叩き、岩石から化石を掘り出しました。さらに、掘り出した化石の種類や、化石が埋まっていた土地が当時はどういった環境であったのかなどを調べました。

講座終了後、参加者の中には「化石を教科書などでしか見たことがなかったが、実際に自分で掘り出すことができ、とても貴重な体験をした」と話している人もいました。



▲化石を掘り出す参加者

## 地域の活性化を目指して

西城自治振興区講演会・11/7

No.10

西城自治振興区が主催する講演会「幸せの国プータンから見たもの」が、西城自治振興センターで開催されました。平成23年7月からプータン王立大学天然資源学部の食品加工の講師として勤務後、現在は帰国して庄原実業高等学校の教諭をしている前田奈緒里さんが講演しました。

プータンは経済的な成長よりもGNH（国民総幸福量）を重視して国政を行う国です。前田さんは民族衣装をアレンジした衣装を着用し、現地で使用した物品などを見せながら、プータンでの経験を基に、地域活性化に必要な「幸福感」のあり方を講演しました。現地の様子が見える講演に、参加者は興味深く耳を傾けていました。



▲「幸福感」について話す前田奈緒里さん

## ごみの減量化と資源の有効活用

庄原市リサイクルフェスタ・11/5

No.9

リサイクルプラザで「第12回庄原市リサイクルフェスタ」が開催され、300人を超える人が来場しました。

会場では、小・中学生が出展した環境ポスター・標語コンクールの表彰式が行われたほか、リサイクル品販売やペレットストーブの展示販売、使用済みの小型家電の回収など、環境に関わるイベントコーナーが多数設けられました。

そのほか、いらなくなったおもちゃを交換する「かえっこバザール」や、廃食油キャンドルづくりの体験コーナーなどもあり、大人から子どもまで多くの方が楽しんでいました。



▲リサイクル品販売のコーナーにたくさんの人が集まった



# あなたの相談をお受けします

悩みごと、心配ごと、  
お困りごとなど、  
お気軽にご相談を



※日程は都合により変更になる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

各種相談	とき	ところ	備考	問い合わせ
定期巡回 児童相談	庄原 1月19日(木)10時~16時	庄原市ふれあいセンター	広島県北部子ども家庭センターによる相談。 1週間前までに予約。	児童福祉課あんしん支援係 ☎0824-73-0051
	東城 1月12日(木)10時~16時	東城支所		東城支所保健福祉係 ☎08477-2-5131
人権相談	庄原 1月17日(火)13時30分~16時30分	庄原市ふれあいセンター	人権擁護委員	三次人権擁護委員協議会 ☎0824-62-2572
	東城 1月5日(木)13時30分~15時30分	東城ふれあいセンター		
	総領 1月11日(水)9時~11時	総領保健福祉センター		
行政相談	庄原 1月19日(木)13時~15時30分	庄原市ふれあいセンター	行政相談委員	市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154
	東城 1月19日(木)13時30分~15時30分	東城支所		東城支所市民生活係 ☎08477-2-5121
	口和 12月16日(金)13時30分~15時30分	口和保健福祉センター		口和支所市民生活係 ☎0824-87-2112
	総領 1月11日(水)9時~11時	総領保健福祉センター		総領支所市民生活係 ☎0824-88-3063
法律相談	東城 1月20日(金)13時~16時	東城支所	広島弁護士会による無料相談。要予約。	広島弁護士会 ☎0120-969-214
	比和 1月6日(金)13時~16時	比和自治振興センター		
生活安全相談	毎週月~金(祝日・年末年始除く) 9時~12時、13時~15時45分	市民生活課市民生活係 東城支所市民生活係	生活安全相談員	市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1244 東城支所市民生活係 ☎08477-2-5121
家庭児童相談	毎週月~金(祝日・年末年始除く) 9時~15時45分	児童福祉課 あんしん支援係	家庭児童相談員	家庭児童相談専用 ☎0824-73-1243
消費生活相談	毎週月~金(祝日・年末年始除く) 9時~12時、13時~16時	市民生活課市民生活係内 庄原市消費生活センター	消費生活相談員	庄原市消費生活センター ☎0824-73-1228 市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154
学校での体罰・ハラスメント相談	随時	教育指導課学事係 (各学校でも受け付け)	プライバシーの保護、 秘密保持を徹底します。	教育指導課学事係 ☎0824-73-1183
認知症カフェ	庄原 「とんぼ」 12月20日(火)・1月17日(火) 13時30分~15時	庄原ショッピングセンター ジョイフル2階	相談・情報交換 参加費1000円	高齢者福祉課高齢者福祉係 ☎0824-73-1165
	東城 「おれんじカフェ・ええ塩梅」 12月20日(火)13時30分~15時	東城支所	相談・情報交換 参加費1000円	東城支所保健福祉係 ☎08477-2-5131
障害者相談員定期相談会	庄原 1月16日(月)13時30分~16時30分	庄原市ふれあいセンター	知的	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
身体障害者補装具判定会	【肢体】1月19日(木)13時~14時	広島県三次庁舎第3庁舎2階 三次市十日市東4-6-1	1週間前までに要予約	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
相続税・贈与税・譲渡所得の相談	原則として毎月第3金曜日 10時~15時30分 日時が変更される場合あり	庄原税務署	要電話予約。 国税局電話相談センター (☎0824-72-1001へ) 音声案内に従い「1」を選択もご利用ください。	庄原税務署調査部門 資産課税担当 ☎0824-72-0464(直通)

## 母子保健事業 ●保健医療課健康推進係 ☎0824-73-1255

事業名	とき	ところ	持ってくるもの	備考
母子手帳交付	1月16日(月)9時~17時	保健医療課	特になし	支所は随時(事前連絡必要)
育児相談	1月10日(火)10時~12時	庄原ひだまり広場 (JR備後庄原駅舎内)	母子健康手帳	支所でも実施(詳細はお問い合わせください)
パパママひろば (妊婦教室)	1月13日(金)13時30分~16時	庄原保健福祉センター	母子健康手帳	申し込み必要
離乳食教室	1月17日(火)10時~11時30分	庄原保健福祉センター	エプロン・三角巾 筆記用具	申し込み必要

## 健康広場

# ヒートショックにご用心!



庄原市立西城市民病院 院長

## 郷力和明



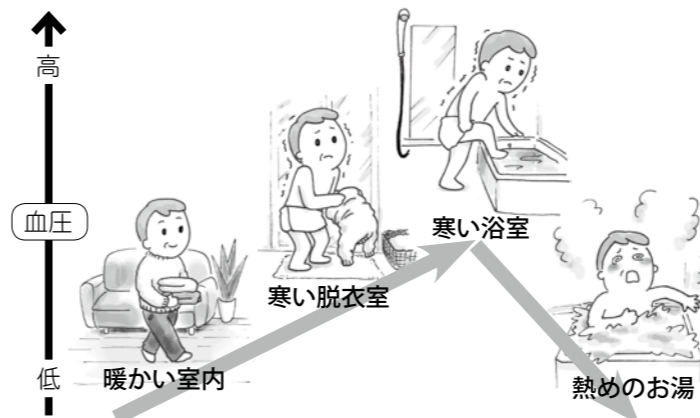
**ヒートショックとは**  
ヒートショックとは、急激な温度変化が体に及ぼす影響のことです。冬の入浴時や冷暖房が効いた部屋から外に出た時など、温度差が10℃以上あるときに起こりやすく、脳梗塞や心筋梗塞などの深刻な疾患につながる危険性があります。

室温の変化にさらされた人間の体は、体温を一定に保つために血管が急激に収縮し、血圧の変動や脈拍の変動を起こします。ヒートショックは体に大きな負担をかけるため、部屋の温度差が大きくなりがちな12月・1月は入浴時の突然死が最も増えるので、特に注意が必要です。

高齢者、高血圧や糖尿病の病気を患っている方、動脈硬化がある方、メタボリック症候群の方がヒートショックを起こしやすく、ヒートショックが原因で亡くなる方は年間1万人以上いると言われています。



### 温度差によって変動する血圧のイメージ



**ヒートショックを防ぐには**  
浴室とトイレは家の北側にあることが多い寒い寒い冬場の入浴時には暖かい居間から寒い風呂場へ移動することになり、熱を奪われまいとして血管が縮み、血圧が上がります。

また、その状態でお湯につかると血管が広がって急に血圧が下がり、血圧が何回も変動することになります。同様に、寒いトイレでも似たようなことが起こり得ます。

このため、居間や脱衣所と、浴室やトイレの温度差をできるだけ小さくしておくことが大切です。

- 1 浴室や脱衣室、トイレを暖房器具で暖めましょう。
  - 2 浴槽のふたを開けたり、浴室にお湯をかけたたりして、浴室を暖めましょう。
  - 3 熱い風呂と長湯は避けましょう。
  - 4 家族に高齢者、高血圧、糖尿病などの方がいる場合は、入浴中に声をかけるようにしましょう。
- ヒートショックを未然に防ぐため、次のことに気をつけましょう。**





催し

ドローン活用啓発セミナー

市は、本年度から「ドローン(無人航空機)」を活用した新たな視点での産業の振興と地域の活性化に向けた取り組みを進めています。ドローンのことを皆さんに知っていただくため、ドローン活用啓発セミナーを開催します。



◆日時 12月20日(火) 13時30分～16時30分
◆場所 庄原市総合体育館
◆内容
▼講演「ドローンの可能性を知ろう！」
▼ドローンの操縦体験など
※天候により変更の場合あり

講師 一般社団法人UAS多用推進技術会

定員 先着30名

申し込み・問い合わせ

いちばんづくり課いちばんづくり係
☎0824・73・1278

募集

ごみ収集カレンダー

市が作成する平成29年度版の「ごみ収集カレンダー」への広告掲載を募集します。

募集枠 12枠

規格 縦3センチ×横25センチ(見開きカレンダー)

配布部数

市内全世帯に約1万6千部配布
◆広告料金
1枠1万円(ただし、1社につき2枠まで)

募集期間 12月22日(木)まで

※応募多数の場合は、市内の方を優先し先着順とします。

申し込み・問い合わせ

財政課理財係
☎0824・73・1202

エクセル3級講座

ひとり親家庭の方を対象に、情報処理技能検定試験・表計算(エクセル)3級合格のための講座を開催します。初心者の方でも習得できます。申し込み書はホームページ(http://www.hiroshimakoren.jp/)にも

掲載しています。対象 ひとり親世帯の親、ひとり親世帯の子(20歳未満)、夫と死別または離別した女性

定員 15人

テキスト代・検定料

各2千円(受講料は無料)

開催日時 次の日程の13時30分～16時30分

1月11日(水)・13日(金)・18日(水)・20日(金)・25日(水)・27日(金)・31日(火)・2月1日(水)・6日(月)・10日(金)・13日(月)(予備日)・15日(水)(検定日)

会場 三次市職業訓練センター

募集期間 12月25日(日)まで

申し込み・問い合わせ

(二財) 広島県ひとり親家庭等福祉連合会

☎082・543・6889
FAX 082・298・5118

若い芽のコンサート

出演者募集

音楽を学んでいる子どもたちや音楽家を目指している学生の方を募集しています。

とき 平成29年4月2日(日)

ところ 三次市民ホール きりり

参加資格

音楽高等学校・音楽大学に在籍している方、または音楽

を学んでいる学生で、各種コンクールで上位入賞した方など。

参加費 8千円

応募期間 1月24日(火)まで

申し込み・問い合わせ

三次音楽家協会事務局
☎080・8243・1540

放送大学4月生募集

放送大学では、平成29年度第1学期(4月入学)の学生を募集します。放送大学はテレビ、ラジオ、インターネットを利用して授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しまたいなど、さまざまな目的で幅広い世代や職業の方が学んでいます。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。

資料を無料で差し上げています。お気軽に放送大学広島学習センターまでご請求ください。放送大学ホームページでも受け付けています。

出願期間

3月20日(月・祝)まで

大学説明会日程(庄原会場)

12月10日(土)・1月7日(土)・2月18日(土)

問い合わせ

広島県立三次高等技術専門校
☎0824・62・3439

放送大学広島学習センター
☎082・247・4030

三次高等技術専門校4月入校生募集

広島県立三次高等技術専門校では、平成29年4月入校生を募集します。

募集訓練科

●自動車整備科(2年間・高卒18歳以上30歳以下)

●溶接加工科(1年間・45歳以下)

●建築科(1年間・45歳以下)

●介護サービス科(6カ月・年齢制限なし)

※見学はいつでもできます。希望の方は事前に連絡をしてください。

応募受け付け期間

1月5日(木)～2月9日(木)

※選考日、選考内容、合格発表日などについてはお問い合わせください。

特典

雇用保険受給者で、公共職業安定所(ハローワーク)の指示によって入校した人には、訓練の終了日まで受給期間が延長されるほか、諸手当が支給されます。

問い合わせ

広島県立三次高等技術専門校
☎0824・62・3439

その他

障害者控除対象者認定の申請はお済みですか?

年末調整や確定申告の時期が近づいてきました。

65歳以上の介護を必要とする方で、「身体障害者等に準ずる方」や「6カ月以上寝たきり状態にある方」は、税法上の所得控除を受けることができる「障害者控除対象者認定」が受けられる場合があります。

対象者

65歳以上の方で、「身体障害者手帳」「療育手帳」または「精神障害者保健福祉手帳」の交付を受けておらず、次の①②③④のうち、いずれかの状態の方。
①認知症状のある、あるいは認知症と診断されている方
②屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない方
③屋内での生活に何らかの介助が必要で、日中もベッドなどでの生活が主体である方
④生活全般に介助が必要な方(ほぼ寝たきり状態の方)

※身体障害者福祉法などに基づく障害認定と、介護保険法に基づく要介護認定は、認定基準が異なることから、要介護認定の介護度が高くても「障害者控除対象者認定」の交付が受けられない場合があります。

申請に必要なもの

① 印鑑
② 障害者控除対象者認定申請書
③ 医師の診断書または民生委員の意見書(要介護認定者は不要です)
※書類は高齢者福祉課介護保険係または各支所市民生活室・地域振興室(西城支所は、しあわせ館内)にあります。

申請先・問い合わせ
高齢者福祉課介護保険係
☎0824・73・1167
または各支所市民生活室・地域振興室(西城支所は、しあわせ館内)

「ミツバチを飼育している方は「蜜蜂飼育届」の提出を!」
養蜂振興法の定めにより、蜜蜂を飼育する場合は、その年の飼育計画などを記入した「蜜蜂飼育届」を、毎年1月

全国大会
あつぱれ! 庄原
ふるさと大会が主催する各種大会などの上位入賞者を掲載します。(敬称略)

第71回国民体育大会

(10月7日～10日)岩手県宮古市
レスリング
●少年男子グレコローマンス
●5位
山中 彬(広島国泰寺高3年・東城町)

県大会

広島県学童軟式野球大会

末までに広島県に提出する必要がある場合があります。趣味で飼育する場合も提出が必要です。(手数料はかかりません)
ただし、園芸作物の花粉交配用に飼育する場合など、届け出が不要な場合もありますので、詳しくは広島県北部畜産事務所にご相談ください。

問い合わせ

その他

第12回庄原絵手紙大賞

●子どもの部

- 大賞 主田 宵(西城小2年・西城創造の村)
優秀賞 松永 悠詩(比和小2年・比和自治振興センター)
伊藤 勇人(十日市小3年・西城創造の村)
紅 蓮太郎(比和小4年・比和自治振興センター)
奨励賞 石川 陽菜(高小1年)
紅 航太郎(比和小2年・比和自治振興センター)
松代 笑佳(峰田小2年)
西浦 紗季(峰田小2年)
佐々木敦矢(峰田小2年)
福岡 大貴(峰田小4年)
主田 志乃(西城小4年・西城創造の村)
森岡 高矢(庄原小4年)
藤川 大和(庄原小5年)
福岡 愛望(峰田小5年)

広島県最低賃金は、平成28年10月1日から時間額793円です。
詳細は、広島労働局労働基準部賃金室(☎082-221-9244)または三次労働基準監督署(☎0824-62-2104)までお問い合わせください。



国営備北  
丘陵公園  
だより

# 備北イルミ

1月9日(月・祝)まで毎日開催!!

備北公園管理センター ☎ 0824-72-7000 (<http://www.bihoku-park.go.jp/>)

## 備北イルミ

### 開催期間

1月9日(月・祝)まで毎日  
開園時間 9時30分～21時  
※入園は20時まで

(期間中12月26日までの毎月  
曜日と、12月31日、1月1日・  
3日は13時開園)

点灯時間 17時30分～21時  
エリアテーマ

★中の広場：光輝く街  
(クリスマスマーケット、広  
場、森をイメージ)

★ひばの里：大蛇  
(八岐大蛇をイメージ)

★花の広場：ツリーの森  
(森、クリスマスをイメージ)

イルミネーション花火の「ライブ」  
冬の夜空に打ち上げられ  
る約200発の花火をイル  
ミネーションとともにご覧  
ください。

とき 12月10日(土)・17日(土)・24日(土)  
19時から約5分間

【ナントキアドベンチャー  
「願いの星と奇跡の夜」  
イルミネーションを楽しむ  
みながら、願いの星の秘密

を解き明かし、家族・カッ  
プルでかけがえのない思い  
出を作りましょう。

### とき

1月9日(月・祝)まで毎日  
15時～20時30分

※最終受け付け19時30分  
ところ 中の広場・花の広  
場・大芝生広場・湖畔レス  
トハウス2階

受け付け場所 中の広場

【安芸戦士メープルカイザー  
ヒーローショー】  
子どもたちの笑顔を守  
るために戦うメープルカイ  
ザーを応援しよう! ショー  
の後には、子どもたちへの  
プレゼントがあります!

とき 12月18日(日)  
16時30分～17時30分  
ところ 中の広場

## ILLUMIワークショップ

クラブトやキャンドル作り  
などのワークショップを開催  
します。大切な家族や友人  
恋人と一緒に楽しんで  
みてください。

### とき

12月25日までの土・日・祝日  
ところ

●ひばの里(13時～20時30分、受け付け19時30分まで)

●湖畔レストハウス2階(15時～20時30分、受け付け19時30分まで)

※開催日時はワークショップにより変動する可能性があります。

【ILLUMIコンサート】  
アーティストによるウイ  
ンターソングやクリスマスソ  
ングなどのコンサートをお  
楽しみください。

とき 12月10日(土)・17日(土)・  
24日(土)・25日(日)

ところ ①18時 ②19時 ③20時  
中の広場

※イベントの詳細は、電話ま  
たは公園ホームページにてお  
問い合わせください。

## 市内の主な施設 年末年始の業務状況

年末年始の業務予定は、次の表のとおりです。■の部分(黒)が休業日となりますのでご確認ください。  
なお、「出生」、「死亡」、「婚姻」など戸籍に関する届け出や、埋火葬、斎場使用の許可手続きなどは、休み中でも取り扱います。詳しくは市民生活課までお問い合わせください。

		12/23(金)	24(土)	25(日)	26(月)	27(火)	28(水)	29(木)	30(金)	31(土)	1/1(日)	2(月)	3(火)	4(水)
市役所(本庁・各支所)	☎0824-73-1123	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
田園文化センター	☎0824-72-1159	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
総合体育館	☎0824-72-8000	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
ふれあいセンター	☎0824-75-0301	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
市民会館	☎0824-72-4242	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
西城市民病院(救急は24時間対応)	☎0824-82-2611	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
時悠館	☎08477-6-0161	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
口和郷土資料館	☎0824-87-2230	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
比和自然科学博物館	☎0824-85-3005	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
ごみ処理	収集	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	持ち込み	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	備北クリーンセンター	☎0824-72-2044	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	リサイクルプラザ	☎0824-72-1398	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	東城クリーンセンター	☎08477-2-0214	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

※その他の施設については、直接各施設へお問い合わせください。

## 映画上映会 超高速!参勤交代リターンズ

幕府の陰謀で5日以内の「参勤」という難題を突き付けられた東北の弱小貧乏藩が、知恵を絞って危機に立ち向かう『超高速!参勤交代』の続編。前作で行きの「参勤」を果たし藩の取り潰しを免れた湯長谷藩一行が、帰りの「交代」でさらなる大ピンチに見舞われるさまを描く。幕府軍vsたった7人の藩士。金なし、人なし、時間なし、おまけに帰る城もなし。さらなる無理難題に、ふたたび知恵と工夫で立ち向かう!

主演の佐々木蔵之介をはじめ、深田恭子、伊原剛志ら主要キャストが続投するほか、多彩な面々が新たに参戦しパワーアップして帰ってきた歴史エンターテインメント超大作。どうぞ、この機会に庄原市民会館でお楽しみください。

とき 12月18日(日) 10時30分上映(10時開場)  
14時上映(13時30分開場)

ところ 庄原市民会館 (全席自由)  
入場料 一般前売り 1,500円(当日1,800円)  
シニア(60歳以上) 1,100円(当日1,200円)  
高校生以下 1,000円

※友の会会員の方は庄原市民会館での購入に限り10%割引

前売り券販売所  
庄原市民会館、ジョイフル、ザ・ビッグ庄原店、食彩館しょうばらゆめさくら、ウイル西城、東城自治振興センター

問い合わせ  
庄原市民会館 ☎0824-72-4242  
生涯学習課社会教育係 ☎0824-73-1188



©「超高速!参勤交代リターンズ」製作委員会

**相続・成年後見・空き家問題等でお困りの方はご相談ください。**

業務のご案内

- 不動産の名義変更
- 成年後見
- 相続登記・遺言
- 会社の登記
- 借金の整理
- 簡易裁判所訴訟代理等

●詳しくはホームページに書いています。

司法書士 飯田 一生 (広島県司法書士会所属)

庄原 司法書士

広島北部司法事務所 (訴訟代理権認定第524014号)(司法書士登録番号828号)  
〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 バルナチュB2階 TEL0824-72-2315(要予約)

**「この社会あなたの税がいきている」**

—インターネットで申告・納税できる—

利用推進運動中

e-Tax (国税電子申告・納税システム) <http://www.e-tax.nta.go.jp>

めざします  
よき経営者による 正しい納税で  
企業の繁栄と社会への貢献

公益社団法人  
**庄原法人会**

〒727-0011 広島県庄原市東本町1-2-22 (庄原商工会議所会館内)  
TEL 0824-72-1889 (FAX兼用)  
HP : <http://www.10.ocn.ne.jp/~shk/>



**人の動き** (庄原市の人口)  
平成28年10月末現在

**【住民基本台帳記載人口】**  
人口 37,079人 (前年比-594人)  
男 17,577人 (前年比-236人)  
女 19,502人 (前年比-358人)  
世帯数 15,850世帯 (前年比-5世帯)  
**【うち外国人】** 人口 352人 (前年比+25人)

**市税・水道料金・下水道使用料納付は口座振替が便利です**

手続きは各金融機関の窓口でお願いします。  
残高確認も忘れないでください。  
●債権収納課 ☎0824-73-1145  
●下水道課管理係 ☎0824-73-1175  
●水道課業務係 ☎0824-73-1197

**休日診療のご案内**

12月・1月の休日診療については、次のとおりです。  
●庄原市休日診療センター  
診療日：日曜・祝日・年末年始 (12/30～1/3)  
☎0824-72-9900  
診療日以外 ☎0824-73-1155 (保健医療課)  
●東城地域

12月23日(金)	日伝医院	☎08477-2-2180
25日(日)	三上クリニック	☎08477-2-1151
29日(木)	こぶしの里病院	☎08477-2-5255
30日(金)	東城病院	☎08477-2-2150
31日(土)	瀬尾医院	☎08477-2-0023
1月1日(日)	こぶしの里病院	☎08477-2-5255
2日(月)	細川医院	☎08477-2-0054
3日(火)	日伝医院	☎08477-2-2180
8日(日)	三上クリニック	☎08477-2-1151
9日(月)	こぶしの里病院	☎08477-2-5255
15日(日)	東城病院	☎08477-2-2150

**献血のご案内**  
☎0824-73-1155

献血を次のとおり実施します。  
400ml 献血限定ですので、皆さんのご協力をお願いします。

実施日	会場	受付時間
1月10日(火)	庄原市役所	10時～11時30分

**広報日記**  
▶空き家について取材をする中で、空き家所有者が「空き家を早めに整理しておけば、家財などがごみではなかったかもしれない」と言われたのが印象的でした。ほったらかしにしているとすぐに傷んでくるそうです。早めに相続問題など整理しておくことが大切です。④  
▶広報を担当していると、広報担当係が書く原稿を後回しにして他の記事を先に作るがよくあります。「医者不養生」「紺屋の白袴」と並んで、「広報担当部署の白紙原稿」ということわざが生まれた本号でした。⑤

**食育コーナー**  
☎0824-73-1214

**「おいしいものだ～いすき!」を大切に食育活動**  
～庄原北保育所～



▲クッキングの説明をわくわくしながら聞く子どもたち ▲ギョーザの皮をピザ生地にしてトッピングを楽しむ

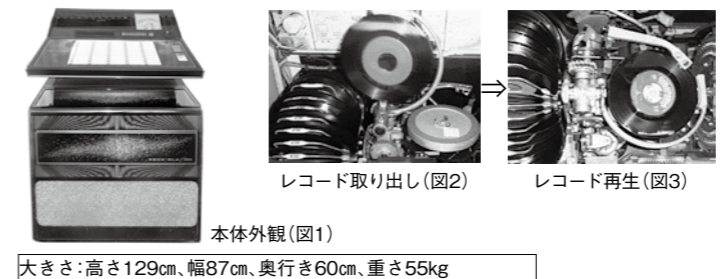
庄原北保育所では「食育活動を通した子どもの豊かな心づくり」に向けた取り組みを行っています。  
ことし豊作となった「こどもピーマン」など、年少組が栽培した夏野菜を使用して、子どもたちに好評なクッキングメニューの1つであるピザ作りを行いました。春に苗を植え、子どもたちが毎日交替で水をやり、「わあ、花が咲いとる!」「ちっちゃいピーマンができたよ」と日々の生長を喜びながら育ててきたピーマンです。  
ピーマン嫌いの子どもたちも「わあー! 苦くない」「おいしい」「また作りたい」と笑顔で完食していました。  
農家の人や調理する人などの作り手への感謝の気持ちや、食べ物を大切にすることを育み、食事の重要性や楽しさを知るきっかけになるよう、食育活動に取り組んでいます。

**ロビーコンサート**  
☎0824-73-1188

**とき** 12月26日(月) 12時15分～55分  
**ところ** 市役所1階市民ホール  
**出演者** ザ・マホガニーズ (コーラス)  
**演奏予定曲目** 「上を向いて歩こう」「翼をください」「Jesus oh what a wonderful child」ほか  
『ザ・マホガニーズ』  
▶森川博司…広島を拠点にソロやゴスペルグループなど精力的にライブを行う。また、テレビなどのジングルなども数多く歌い、マルチなプレイヤーとして高い評価を得ている。ヤマハポピュラーミュージックスクール・ボーカル科、ゴスペル科講師。  
▶菊本 央…学生時代に吹奏楽やビッグバンドジャズで培ったトロンボーンと指揮者の経験を下地に、ボーカルへと転向。ツインボーカルユニット「Dragon × Lime」などで活動。ヤマハポピュラーミュージックスクール・ボーカル科、ゴスペル科講師。  
▶若狭愛…広島県出身のボーカリスト。大阪音楽大学短期大学部ポピュラーヴォーカル科卒業。2002年、NHK BS2の番組「おーい、ニッポン」で、宮島の厳島神社の高舞台上で熱唱し好評を博した。癒しの曲からパワフルな曲まで幅広く歌い、芯の強さと潤いのある声が支持されている。ソロ演奏活動とともに「Dragon × Lime」などでも活動中。ヤマハポピュラーミュージックスクール・ボーカル科、ゴスペル科講師。

**口和郷土資料館** ☎0824-87-2230  
開館日：月・木・土 9時～17時

**ジュークボックス(4)**  
**ロボットがレコードを自動演奏**



これは昭和40年ごろに、アメリカの「ROCK-OLA社」で作られた「ジュークボックス」です。昭和40年代から昭和の終わりごろまで大活躍していました。  
本体の外観(図1)は、アメリカ的で派手にデザインされた木製の箱で、上部の曲名表示盤と正面は、裏から蛍光灯で照明されて暗い場所でもよく目立ちます。内部には、45回転のEPレコード50枚(裏・表で100曲)が入る丸いレコード収納枠や、ロボットのような精巧な動きで選曲と演奏をする大きな機構部、それを制御する回路、そしてレコードプレーヤーとステレオ用のアンプ、大きなスピーカー2個、さらに投入硬貨の確認部と保管箱が収まっています。  
上部の選曲ボタンで3桁の番号を押すと、選ばれたレコードはレコード収納枠からアームに挟まれて取り出されると(図2)、ターンテーブルへ丁寧に置かれ、ピックアップ(針)がレコードの溝をトレース(なぞること・図3)して音楽が再生されます。再生が終わると、レコードは収納枠の元の位置に正確に戻されて待機します。機構部の一連した動きは的確に自動制御されているので、大切なレコードに傷が入る事はありません。これは使用されていた昭和40年代当時、100円で1曲聴ける設定となっていました。  
ジュークボックスはアメリカで開発されて以降、自動販売機のように各所で活躍しました。ジュークボックス用に、穴が大きく「ドーナツ盤」とも呼ばれたEPレコードも開発されました。CDが普及するまでは、ジュークボックスは喫茶店や娯楽施設などの多くの場所で手軽に音楽を聞くことができる昭和を代表する音楽再生機でした。  
現在、ジュークボックスは国内ではほとんど目にすることができませんが、当館にはこの他にも珍しいジュークボックスを動かせる状態で展示しています。懐かしい思い出の曲をぜひお聞きください。

これは昭和40年ごろに、アメリカの「ROCK-OLA社」で作られた「ジュークボックス」です。昭和40年代から昭和の終わりごろまで大活躍していました。  
本体の外観(図1)は、アメリカ的で派手にデザインされた木製の箱で、上部の曲名表示盤と正面は、裏から蛍光灯で照明されて暗い場所でもよく目立ちます。内部には、45回転のEPレコード50枚(裏・表で100曲)が入る丸いレコード収納枠や、ロボットのような精巧な動きで選曲と演奏をする大きな機構部、それを制御する回路、そしてレコードプレーヤーとステレオ用のアンプ、大きなスピーカー2個、さらに投入硬貨の確認部と保管箱が収まっています。  
上部の選曲ボタンで3桁の番号を押すと、選ばれたレコードはレコード収納枠からアームに挟まれて取り出されると(図2)、ターンテーブルへ丁寧に置かれ、ピックアップ(針)がレコードの溝をトレース(なぞること・図3)して音楽が再生されます。再生が終わると、レコードは収納枠の元の位置に正確に戻されて待機します。機構部の一連した動きは的確に自動制御されているので、大切なレコードに傷が入る事はありません。これは使用されていた昭和40年代当時、100円で1曲聴ける設定となっていました。  
ジュークボックスはアメリカで開発されて以降、自動販売機のように各所で活躍しました。ジュークボックス用に、穴が大きく「ドーナツ盤」とも呼ばれたEPレコードも開発されました。CDが普及するまでは、ジュークボックスは喫茶店や娯楽施設などの多くの場所で手軽に音楽を聞くことができる昭和を代表する音楽再生機でした。  
現在、ジュークボックスは国内ではほとんど目にすることができませんが、当館にはこの他にも珍しいジュークボックスを動かせる状態で展示しています。懐かしい思い出の曲をぜひお聞きください。

配偶者や恋人からの暴力・暴言などで悩んでいませんか?  
**あなたの不安な気持ちをお話ください。**  
《家族や友人が心配という方もご相談できます。》  
庄原市役所児童福祉課あんしん支援係  
☎0824-73-1243 [月～金 9時～17時(年末年始・祝日除く)]

広島県西部 こども家庭センター	☎082-254-0391 休日夜間電話相談 ☎082-254-0399	月～金 10時～17時 月～金 17時～20時 土日祝 10時～17時
広島県北部 こども家庭センター	☎0824-63-5181(代) 内線 2313	月～金 10時～17時

**市民ギャラリー「アート多愛夢」**  
情報BOX (西本町二丁目1番21号)

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。  
**折り紙で現す赤穂四十七士**  
とき 1月8日(日)～10日(火) 10時～16時  
☎0824-72-5453  
☎0824-73-1178  
※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料は要りません。

**食彩館しようばら**  
**ゆめさくら** ☎0824-75-4411

**12～1月のイベント情報**  
▶ゆめさくら講座  
○草木染め教室「今までの作品を自由に染め替え」  
**とき** 12月12日(月)  
①9時～12時 ②13時30分～15時30分  
**参加費** 4,900円  
**定員** ①②各12人(これまでの参加者のみ)  
○草木染め教室「未定」  
**とき** 1月30日(月)  
①9時～12時 ②13時30分～15時30分  
**参加費** 4,900円  
**定員** ①②各12人  
▶展示・販売&イベント  
○庄原実業高校アグリカンパニー  
庄原実業高校の生徒の皆さんの手作り商品を展示・販売します。  
**とき** 12月10日(土)・1月14日(土) 10時～15時  
○ゆめさくら歳末感謝祭  
**とき** 12月23日(金・祝)～25日(日)  
※お楽しみ抽選会は12月25日開催  
詳細はホームページやFacebook、チラシなどでお知らせします。  
**【年末年始の営業】**  
**休館日** 12月31日(土)～1月3日(火)  
**初売り** 1月4日(水)  
**【営業時間の変更】**  
1月4日～3月末日までは17時に閉館します。  
※朝どり市は通常通り16時終了

**しょうばら九日市**  
**毎月9日は、しょうばら九日市**  
★出店者募集中! あなたの店を開こう。  
★毎月20日が出店申込締め切りです。  
★申し込みは楽笑座内九日市事務局  
☎0824-72-8285 まで  
**とき** 1月9日(月・祝) 9時～13時  
**ところ** 中本町・まちなか広場周辺(のほりが目印)  
詳しくはHPで <http://kunchi-ichi.jp/information.html>



# みんなで乗ろうや 芸備線



VOL.28

## 備後落合駅

備後落合駅は、昭和10年12月20日、備後西城～備後落合間の開通に伴い開業しました。かつては鉄道による陰陽連絡の要所であり、スキーに向かう人々の乗り継ぎ駅としても大いににぎわっていました。木次線の三井野原駅前にあるスキー場まで行く途中、乗り換えの間にアツアツのおでんうどんを食べた思い出のある方も多いかもしれません。あの時代と変わらない駅へ、この冬、思い出を訪ねてみてはいかがでしょうか。



▲休日ににぎわう備後落合駅（平成28年9月24日撮影）

備後落合駅は、鉄道ファンの間では秘境のターミナル駅として有名です。

14時30分ごろに、三次方面、新見方面、木次方面から、色の違う3台の列車が到着し、10分間ほどの乗り換え停車の後、再び3つの方向に出発します。庄原方面・東城方面から乗車してもすぐに折り返すので、この数分を体験して帰ることが出来ます。駅舎の中には写真や駅ノートがあり、転車台跡も見ることが出来ます。

三江線は廃止が決まりました。地域として芸備線を生かす工夫が必要です。その中心となるのが備後落合駅だと思えます。地域の方により備後落合駅開業80周年記念イベントも盛大に行われました。何が心を引き付けるのか、一度行って確かめてみませんか。

土屋 詔二（上原町）

### 応募方法

庄原市内の鉄道路線に思わず乗ってみたくなる乗車エピソードやスポット情報を募集しています。写真と説明文（100文字程度）乗車体験記（200字程度）を郵送またはメールでお送りください。

### 応募先

〒727-8501  
庄原市中本町一丁目10番1号  
庄原市行政管理課広報統計係  
☎0824-73-1159  
メール koho@city.shobara.lg.jp

## 広報しようばらにあなたの写真を載せてみませんか？



写真を通して庄原市の魅力を再発見するコーナーです。風景写真はもちろん人物写真でも結構です。あなたの好きな庄原市の風景の写真に、思いや撮影エピソードなど（200字程度）を添えてご応募ください。



3歳までのお子さんの写真を募集しています。写真（データも可）に、名前（ふりがな）・生年月日・性別・連絡先・お子さんへのメッセージを添えてご応募ください。2ページ「もくじ」下に掲載しています。

## みんなで乗ろうや 芸備線



庄原市内の鉄道路線に思わず乗ってみたいくなる乗車エピソードやスポット情報を募集しています。写真に説明文（100字程度）乗車体験記（200字程度）を添えてご応募ください。

### すべての送付先はこちら

庄原市中本町一丁目10番1号  
庄原市行政管理課広報統計係  
☎0824-73-1159  
メール koho@city.shobara.lg.jp